



総数2頁の1頁
証明書番号 53-2571060

校正証明書

依頼者	山梨大学医学部附属病院
住所	山梨県中央市下河東1110
品名	デジタル温度計
型式又は性能	本体：0572 9262 (Saveris T3D) センサ：8711 0001 目量：0.1 °C 温度センサの種類：K熱電対 外径：5.0 mm (先端から約 30 mm : ϕ 3.6 mm) 長さ：70 mm
製造番号	本体：61755121 センサ：53909
製造者	株式会社 テストー
校正項目	温度
校正方法	JQA校正要領書による (文書番号E534607)
校正結果	次頁以降のとおり
校正年月日	2025年7月10日
校正実施場所	愛知県北名古屋市沖村五反22番地 一般財団法人 日本品質保証機構 中部試験センター 熱学計測課校正室

校正結果は以上のとおりであることを証明します。

2025年7月16日

愛知県北名古屋市沖村五反22番地
一般財団法人 日本品質保証機構
中部試験センター

センター長 中嶋 大介



この証明書は、国内または海外の国家標準にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。書面による承認なしに、この証明書の一部分のみを複製して使用することを禁じます。日本品質保証機構 中部試験センターは、A2LA (American Association for Laboratory Accreditation) によってISO/IEC 17025:2017に基づく校正機関として認定されています。



校 正 結 果

校正値(℃) (標準の値)	指示値(℃)	拡張不確かさ(℃)	備考
-90.0	-89.7	0.8	
-80.0	-79.8	0.8	
-70.0	-69.8	0.8	

校正の不確かさ:

拡張不確かさは、包含係数 $k=2$ から決定したもので、約 95 %の信頼の水準をもつと推定される区間を定める。

校正条件:

- ・校正は、標準器との比較測定により実施した。
- ・センサは、ソケット "1" に接続した。
- ・温槽へのセンサ挿入は、ガラス製保護管を使用し、挿入深さ約300 mmとした。
- ・校正に使用した温槽
-90℃～-70℃の温度目盛の校正には、低温槽を使用した。
- ・校正を実施したときの校正室の環境条件
温度 23℃
湿度 55%～58%

使用した標準器等

(品 名)	(製造者)	(型式又は性能)	(製造番号等)
デジタル温度計	FLUKE / 株式会社 ネツシン	1523 / NR-351	5396028 / 4808507-001

特記事項：校正品の受理後、修理及び調整を行わず校正を実施した。

以 上